

『ひまわり』 キク科の一年草



- ・北アメリカ原産で、観賞用として広く栽培される。
- ・茎は直立して高さ2m内外になり、単一または上部で分枝し、葉とともに短剛毛がおおっている。
- ・葉は大形で互生し、長い葉柄があり、葉身は心臓形で先は鋭く長さ10～30cm、へりにはあらい鋸歯がある。
- ・夏から初秋、茎および枝の頂に直径10～40cmの頭花を横向きにつける。周辺には鮮黄色の舌状花があり、中央の管状花は褐色または黄色で、低い半球状に盛り上がっている。
- ・花後多数の大きな瘦果ができる。
- ・頭花が太陽の進行につれて回るとされ、それが名の由来になったといわれるが、実際には頭花は回らない。
- ・ヨーロッパへはコロンブスのアメリカ大陸発見後に伝わり、その後中国を経てわが国へは寛文6年(1666)に渡来したとされる。